

日本旅行が一番人気

香港駐在員事務所

秘書 Hau Siu Yun, June

香港で食品やアニメなど日本文化への関心が高まるなか、地元の旅行会社が企画する「日本美食之旅」と銘打った高級な旅行ツアーが発売から半日でほぼ満員となるなど人気を博しています。

このツアーは、4泊5日で日本各地の食をめぐる「グルメツアー」で、旅行代金は1人あたり約40万円と一般的な日本への旅行ツアーと比べると5～6倍はしますが、老若男女を問わず日本への旅行経験があるリピーターを中心に特に人気だそうです。

先頃、大手クレジットカード会社が香港人を対象に実施した「今後2年で行きたい旅行先（複数回答）」調査において、「日本」と答えた人が全体の6割と一番多く、次に台湾、中国本土という結果となりました。

実際に昨年日本を訪問した外国人679万人のうち、香港人は約45万人（日本政府観光局発表）で全体の5番目となっています。特徴的なのは、個人旅行者の比率が7割を超え、リピーター率も約8割と他の国の訪問客に比べ突出している点です。

それではなぜ香港人は旅行先として「日本」を選ぶのでしょうか。最近現地誌に掲載された一例をご紹介します、

- ・香港では見られない自然環境がある（雪、温泉など）
- ・香港より低価格で本場の日本食を食べることができる
- ・四季があり違った景色や食べ物が体験できる
- ・短時間に合理的に移動ができる（交通網が発達している）
- ・レンタカーで自由に移動できる（国際免許が利用できる）
- ・テレビ番組や雑誌でよく取り上げられている

などの回答がありました。

確かに香港人にとって日本は、生活する上でとても身近に感じることができます。日本料理店や日本の食品、雑誌に至るまで身近な存在です。

訪れたことのない人にとっては、いつかは行ってみたい憧れの地であることは間違いありません。また、実際に日本を訪れた人にとっては、想像以上に快適でまた行きたくなる魅力的な土地と言えます。

香港人は一般的に「目新しい物好き」「リサーチ好き」で「自慢好き」の傾向があります。海外旅行に関しても、まず海外旅行専門誌など活字で情報収集を行い、その後興味

を持った地域についてインターネットでさらに検索し研究を重ねます。そのように他人の知らない旅先の最新情報を入手後、実際に旅行に行き、香港に帰国後にブログや通信サイトなどで自慢するのです。

香港人は日本が大好きではありませんが、決して日本のことを何でも知っている訳ではありません。

よって、日本の自治体や観光業者が香港からの訪問客を更に増加させるためには、香港人のニーズに対する情報を「早く豊富に提供」、「更新を素早く行い」、「飽きさせない」ことが重要なようです。



日本への観光を紹介した旅行会社パンフレット・雑誌

以上